

町場地区園地でみつけた秋のお話です

食欲の秋

秋といえば、なんといっても食欲の秋。公園内にいっぱい栗も落ち始めました。キノコも顔を出しています。

さて、7月27日にオープンした町場地区園地は御所湖広域公園で唯一バーベキューなど野外炊飯のできる園地です。炊事棟には洗い場、調理台、かまどがあります。



8月30日には、近所の安庭小学校（※）の皆さんが「なべっこ遠足」にやってこられました。メニューは「豚汁」、ニンジンや野菜を上手に切って、かまどで火をおこし、みんな楽しそうでした。もちろんなべは空っぽに。そばの遊具でもいっぱい遊んでいってくれました。

9月の連休は、バーベキューで大賑わい。公園内を巡回していると、いい匂いがいっぱいです。においだけでご飯が食べられそうな感じです。

虫の秋

9月14日町場地区園地ではじめての自然観察会がありました。講師は岩手虫の会の伊達さん。アキアカネ、ウスバキトンボなどのとんぼを見つけ、エンマコウロギ、オカメコオロギ、カンタン、マダラスズ、ツユムシ、ハヤシノウマオイ（すいっちゃん）を見つけ、その音色を聴くことができました。



※ 安庭小学校記念碑が町場地区園地内の門の脇に建っています。安庭小学校は今年創立140周年、碑に刻まれた記録をみますと1873(明治6)年籬野学校として創設され、矢川学校を経て、1908(明治41)年に「町場」へ新築移転されました。その後、1981(昭和56)年竣工した御所ダムの建設に伴い、「町場」から移転したとのことです。



9月24日、町場地区園地で1935(昭和10)年生まれの安庭小学校卒業生が7名集まって同級会をされていました。近くに校舎のあった場所ですので、昔話が弾んだようです。